

ラスト・ダイビング

ポルトガル映画界の世界的巨匠
オリヴェイラ監督作品を中心に、
注目のポルトガル映画を特集。

特別企画

日本ポルトガル修好通商条約150周年

ポルトガル映画祭2010

～マノエル・ド・オリヴェイラとポルトガル映画の巨匠たち～



日本最大の実験映画の祭典、日本と世界の最新映像を紹介。

特別企画

イメージフォーラム フェスティバル2011



シークレット・マシーン

日本最大の実験映画の祭典、日本と世界の最新映像を紹介。

イメージフォーラム フェスティバル2011

主催：福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会 イメージフォーラム 協賛：日本映像学会西部支部



神木本町の犬

会期：6月1日(水)～6月5日(日)

観覧料：1,000円(当日1回券)/800円(前売り1回券)/2,500円(4回券)/4,500円(フリーパス券)

※前売り券はチケットぴあ(Pコード462-802)、ローソンチケット(Lコード88155)で販売。

※定員制、各回入替制。

※障がい者の方及び「わの会」割引なし。

※4回券、フリーパスはお一人用です。複数人での使用はできません。

1(水)14:00 一般公募作品+日本招待作品

B トリッキー・イメージ | 6作品 / 77分

Grass/Sleep 五島一浩/ビデオ/10分/2010
 狐火 土屋由貴/ビデオ/30分/2010
 EXIST 新山哲河/ビデオ/2分/2010
 INKBLOT #2 松山由維子/ビデオ/10分/2010
 遺取 小室萌佳/ビデオ/10分/2011
 telescope 水野勝規/ビデオ/15分/2010

1(水)16:20 日本招待作品

D 超日常の映画 | 5作品 / 82分

東京浮絵百景 五島一浩/ビデオ/15分/2010
 総ては本 萩原朔美/ビデオ/15分/2011
 離散の歌 黒川芳朱/ビデオ/37分/2011
 garden 島田量平/ビデオ/9分/2010
 DREAMS 田名網敬一+相原信洋/ビデオ/6分/2011

1(水)18:40 一般公募作品+日本招待作品

E “あいだ”を探る | 7作品 / 99分

水竹物語 万城目純/ビデオ/20分/2011
 神木本町の犬 玉野真一/ビデオ/17分/2011
 自画像『鳥』 孫于景/ビデオ/15分/2010
 つなぎ目 奥山順市/ビデオ/9分/2011
 THE 梅屋商店 渡辺亮/ビデオ/9分/2010
 洗濯日和 石毛麻梨子/ビデオ/13分/2011
 聴雨-笑う悲しみ- 萩原朔美/ビデオ/15分/2011

洗濯日和



2(木)14:00 一般公募作品+日本招待作品

C 気配の映画 | 6作品 / 76分

春のしくみ 和田淳/ビデオ/4分/2010
 誰かがいる 誰かがいる 誰かがいる
 ほしのあきら+横溝千夏+鈴木宏忠/8ミリ/25分/2011
 EDEN 磯部真也/16ミリ/15分/2011
 FANTÔNE 太田曜/16ミリ/8分/2011
 風の精 辻直之/16ミリ/6分/2009
 内なるこども 田中愛美/8ミリ/18分/2010

2(木)16:20 一般公募作品+日本招待作品

F ストーリーズ | 5作品 / 95分

invain 田中廣太郎/ビデオ/15分/2011
 APARTNESS 五十嵐耕平/ビデオ/25分/2010
 セックスと長野とイルカ 酒井一樹/ビデオ/19分/2010
 蛇が泣く 青柳清美/ビデオ/5分/2010
 冬を混ぜて庭 畑純平/ビデオ/31分/2010
 セックスと長野とイルカ



2(木)18:40 一般公募作品+日本招待作品

G 記憶と声のマチエール | 4作品 / 98分

記憶のマチエール#3<ド・サイン22>
 ビジュアル・ブレインズ(風間正+大津はつね)/ビデオ/17分/2011
 あめやさめ タケヒロ雄太/ビデオ/70分/2010
 待ち合わせ 白玖欣宏+平岡佐知子/ビデオ/3分/2011
 Que voz feio(醜い声) 山本良浩/ビデオ/8分/2011

3(金)14:00 一般公募作品+日本招待作品

H リアル・エクスプローラー | 4作品 / 95分

ダママ 大木裕之/ビデオ/30分/2011
 ラブ! ミー! テンダー! 小林由美子/ビデオ/29分/2010
 THE IKIZAMA 中嶋駿介/ビデオ/14分/2010
 17歳 佐々木優/ビデオ/22分/2010

3(金)16:20 日本招待作品

I 光のなかで | 4作品 / 88分

3つの部屋 石田尚志/ビデオ/41分/2010
 Kyoto, ダンス 金東薫/ビデオ/20分/2010
 幽廊 外山光男/ビデオ/11分/2010
 生態系-17-Castor 小池照男/ビデオ/16分/2010

幽廊



3(金)18:40 特別講座

J 「映画の彼方から此方へ」

ナビゲーター：かわなかのぶひろ(映像作家)
 映画をなりたてさせているそもその原理へフィードバックすることを通じて、今日の映像のあるべき姿を探索する。

上映作品

スティル・ムービー 永田陽一/16ミリ/3分/1978
 アートマン 松本俊夫/16ミリ/11分/1975
 SPACY 伊藤高志/16ミリ/10分/1981
 フィルムディスプレイ 瀬尾俊三/16ミリ/5分/1979
 スイッチバック かわなかのぶひろ/16ミリ/9分/1976
 抱擁譚 寺山修司/16ミリ/20分/1975

※講演会は有料で上映とセットです。イメージフォーラム・フェスティバルのチケット、フリーパスでご入場できます。

4(土)11:00 海外招待作品

L ルミナス・アトラクションズ | 5作品 / 71分

ジャイロ・回転
 ビヨルン・ケメラー/オーストリア/9分/35ミリ/2010
 マモリ カール・レミュール/カナダ/8分/35ミリ/2009
 トラベリング・フィールズ
 インガー・リーゼ・ハンセン/ノルウェー/9分/35ミリ/2009
 スターダスト
 ニコラ・プロヴォスト/ベルギー/20分/35ミリ/2010
 出演：デニス・ホッパー、ジョン・ボイト、ジャック・ニコルソン他
 カミング・アトラクションズ
 ベーター・チェルカスキー/オーストリア/25分/35ミリ/2010

4(土)13:00

一般公募作品+日本招待作品

A ジャパン・アニメーション・パノラマ | 10作品 / 81分

TATAMP 水江未来/ビデオ/6分/2011
 MODERN 水江未来/ビデオ/7分/2010
 SPONCHOI Pispochoi pecoraped/ビデオ/6分/2010
 TWO TEA TWO 一瀬皓コ/ビデオ/3分/2010
 はなのはなし 古川タク/ビデオ/6分/2010
 私の痕跡 永岡大輔/ビデオ/4分/2010
 many go round 中西義久/ビデオ/6分/2011
 おもかげ 佐竹真紀/ビデオ/6分/2010
 ホリディ 平野遼/ビデオ/15分/2011
 いぬごやのぼうけん 水本博之/ビデオ/22分/2011

4(土)15:00

海外招待作品

M アニメーション・セレクション1 秘密の機械 | 5作品 / 65分

シャドウ・カット
 マーティン・アーノルド/オーストリア/5分/ビデオ/2010
 シークレット・ライフ
 レイノルド・レイノルズ/ドイツ/10分/ビデオ/2008
 シークレット・マシーン
 レイノルド・レイノルズ/ドイツ/16分/ビデオ/2009
 シックス・イージー・ビーセス
 レイノルド・レイノルズ/ドイツ/10分/ビデオ/2010
 マスク ブラザーズ・クエイ/ポーランド/24分/ビデオ/2010

4(土)17:00

福岡特別講座

伊奈新祐特別講演会

日本を代表する映像作家が語る、映像の過去・現在・未来「ビデオアートからメディアアートへ」

講師：伊奈新祐(京都精華大学芸術学部教授)
 司会：黒岩俊哉(九州産業大学芸術学部教授)

上映作品

流・flow(2) 伊奈新祐/ビデオ/6分/1983
 SHA 伊奈新祐/ビデオ/6分/1986
 風騒.FUSO(2) 伊奈新祐/ビデオ/6分/1989
 Sketch of Kyo(京)vol.2 伊奈新祐/ビデオ/8分/1994
 女拓(Nyotaku) 伊奈新祐/ビデオ/6分/1997
 Crane Performance 伊奈新祐/ビデオ/9分/2004

展示作品

Watching/Drawing/Zooming 伊奈新祐/ビデオ/19分/1979

※講演会是有料で上映とセットです。イメージフォーラム・フェスティバルのチケット、フリーパスでご入場できます。またイメージフォーラム・フェスティバルの他の上映の半券でもご入場できます。

5(日)11:00

海外招待作品

S マッピング・ストーリーズ | 1作品 / 78分

あなたはここにいる
 ダニエル・コックバーン/カナダ/78分/ビデオ/2010

5(日)13:00

海外招待作品

N アニメーション・セレクション2 愛と剥奪 | 6作品 / 64分

エクスターナル・ワールド
 ティヴィッド・オライリー/ドイツ/15分/ビデオ/2010
 生物の起源
 フロリス・カイク/オランダ/11分/ビデオ/2010
 愛と剥奪
 アンドレアス・ヒューカーデ/ドイツ/7分/ビデオ/2010
 睡眠で死にはしない
 マルコ・メシュトロヴィッチ/クロアチア/9分/ビデオ/2010
 主義の外 スン・シュン/中国/8分/ビデオ/2010
 リフセットの日記
 テオドル・ウシェフ+クリス・ロビンソン
 カナダ/14分/ビデオ/2010

5(日)15:00

海外招待作品

R 名前のない男 | 1作品 / 96分

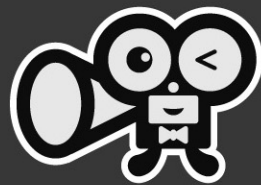
名前のない男
 ワン・ビン/中国=フランス/96分/ビデオ/2009

ポルトガル映画界の世界的巨匠オリヴェイラ監督作品を中心に、注目のポルトガル映画を特集。

日本ポルトガル修好通商条約150周年

ポルトガル映画祭2010

～マノエル・ド・オリヴェイラとポルトガル映画の巨匠たち～



主催：福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会 一般社団法人コミュニティシネマセンター（シネマテーク・プロジェクト） ポルトガル大使館・カモンイス院
特別協力：東京国立近代美術館フィルムセンター 川崎市民ミュージアム シネマテカ・ポルトゲーザ

会期：6月8日(水)～7月2日(土) ※休館日・休映日除く

観覧料：600円(大人)/500円(大学生・高校生)/400円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳の提示が必要です。)

※「わの会」会員は300円(会員証の提示が必要です。)



6/8 (水) 14:00 19 (日) 14:00 24 (金) 14:00 神曲 <i>A Divina Comédia</i> 精神病院を舞台とした映画。そこにはアダムとイヴ、キリスト、ラスコリーニコフ、ニーチェらが暮らしていた。彼らは信仰と愛について様々な対話を繰り返していく。古典文学から監督が自在に引用してモンタージュした会話劇。揺るぎない知性と品格が溢れる作品。 1991年/35ミリ/カラー/142分 日本語字幕付き 監督：マノエル・ド・オリヴェイラ 出演：マリア・ド・メテイロス ミゲル・ギリエルメ	6/9 (木) 14:00 18 (土) 17:00 7/1 (金) 19:00 過去と現在 昔の恋、今の恋 <i>O Passado e o Presente</i> ヴァンダはフィルミーノと結婚して1年になるが、事故死した元夫への想いを募らせる。屈辱感を覚えるフィルミーノは自殺してしまう。オリヴェイラ監督の長編第三作。投獄された後、ようやく復帰した作品で、演劇性を前面に押し出している。 1972年/35ミリ/カラー/115分 日本語字幕付き 監督：マノエル・ド・オリヴェイラ 出演：マリア・ド・サイゼット マヌエラ・ド・フレイタス	6/9 (木) 19:00 18 (土) 14:00 7/2 (土) 11:00 カニバイシュ <i>Os Canibais</i> 令嬢マルガリータとアヴェルダ子爵は結婚するが、その夜子爵は恐ろしい秘密をうち明ける。実は子爵は人間ではなかったのだ。錯乱して窓から飛び降りるマルガリータ。子爵も暖炉に身を投じてしまう。厳かに進行する前半と、正反対の展開を見せる後半。オリヴェイラ監督の規格外のユーモアを堪能できる。 1988年/35ミリ/カラー/101分 日本語字幕付き 監督：マノエル・ド・オリヴェイラ 出演：ルイス・ミゲル・シントラ レオノール・シルヴェイラ
6/10 (金) 14:00 19 (日) 11:00 7/2 (土) 17:00 春の劇 <i>Acto da Primavera</i> トラス・オス・モンテス地方の山村では、16世紀に書かれたテキストに基づきキリスト受難劇が上演されている。この劇の存在を知った監督は「ふたつとない劇を映像として残そう」と撮影に踏み切る。オリヴェイラ監督の第二作で、監督自身が作品歴のターニングポイントと言う重要作。 1963年/35ミリ/カラー/91分 日本語字幕付き 監督：マノエル・ド・オリヴェイラ 出演：ニコラウ・ヌネス・ダ・シルヴァ エルメリンダ・ピレシ	6/10 (金) 19:00 18 (土) 11:00 7/2 (土) 14:00 アニキ・ボボ <i>Aniki-Bóbo</i> ポルトガル北部の港町ポルト。美少女テレジーニャの気を引こうと内気なカルリートとガキ大将のエドゥアルデ・イ・ニョが対抗意識を燃やす。オリヴェイラ監督の長編デビュー作。イタリアのネオリアリズムの先駆的作品と評価された。 1942年/35ミリ/モノクロ/71分 日本語字幕付き 監督：マノエル・ド・オリヴェイラ 出演：ナシメント・フェルナンデス フェルナンダ・マツス	6/11 (土) 11:00 16 (木) 19:00 25 (土) 14:00 トラス・オス・モンテス <i>Trás-os-Montes</i> ポルトガル北部の山岳地帯トラス・オス・モンテスの村。子供達の遊びを描きながら、村の過去と未来を夢幻的な時間構成の中に浮かび上がらせる。近代以前が息づく村を丹念に記録した作品で、70年代ポルトガル映画の名作。フランスの批評家たちを驚嘆させ、その後の監督たちに大きな影響を与えた。 1976年/35ミリ/カラー/111分 日本語字幕付き 監督：アントニオ・レイス マルガリータ・コルデイロ 出演：トラス・オス・モンテスの住人達
6/11 (土) 14:00 17 (金) 14:00 24 (金) 19:00 黄色い家の記憶 <i>Recordações da Casa Amarela</i> 中年男のデウスは、道徳観念が欠落しており、年老いた母親から金をせびり、死んだ商売女の金を盗む。心を寄せる大家の娘に拒絶されると暴行してアパートを飛び出してしまふ。監督自身が主演する「ジョアン・ド・デウス」シリーズ第一作で、ヴェネチア映画祭銀獅子賞を受賞した、現代的パレースク映画の怪作。 1989年/35ミリ/カラー/122分 日本語字幕付き 監督：ジョアン・セザール・モンテイロ 出演：ジョアン・セザール・モンテイロ マヌエラ・ド・フレイタス	6/11 (土) 17:00 15 (水) 14:00 26 (日) 11:00 骨 <i>Ossos</i> リスボン郊外のスラム、フオンタイニャス地区を舞台に、貧困と無力にうちひしがれる若者達の生を描く。ペドロ・コスタ監督の長編第三作。出演者のほとんどがこの地区の住人であり、監督もこの地区に暮らしながら撮影された。 1997年/35ミリ/カラー/98分 日本語字幕付き 監督：ペドロ・コスタ 出演：ヴァンダ・ドゥアルテ ヌーノ・ヴァス	6/12 (日) 11:00 17 (金) 19:00 25 (土) 11:00 ラスト・ダイビング <i>O Último Mergulho</i> 自殺を考える青年サムエルはエロイという老人と出会い、最後に一緒に町に繰り出す。二人は商売女達と遊び、踊り、飲み明かすのだった。監督は絵コンテも台本もなく、俳優達と即興で各シーンを作り上げわずか8日で撮影した。おらかな人生賛歌。 1992年/35ミリ/カラー/91分 日本語字幕付き 監督：ジョアン・セザール・モンテイロ 出演：ファビアンヌ・バープ ティニス・ネト・ジョルジ
6/12 (日) 14:00 22 (水) 14:00 29 (水) 14:00 神の結婚 <i>As Bodas de Deus</i> デウスの元に「神の使者」が現れ、大金を渡す。突然大富豪になったデウスは男爵を名乗り、美女達を奪い「パラダイス」という邸宅で愛の営みを始める。「ジョアン・ド・デウス」シリーズの完結編。デウスの幻想はいよいよ羽目を外し、欲望と自由を巡る孤高の省察がなされる。 1999年/35ミリ/カラー/154分 日本語字幕付き 監督：ジョアン・セザール・モンテイロ 出演：リタ・ドゥラン ジョアン・セザール・モンテイロ	6/16 (木) 14:00 23 (木) 19:00 25 (土) 17:00 トランス <i>Trance</i> ロシアの閉鎖的な生活に疲れたソーニャは、よりよい生活を求めて国を出る。ドイツの自動車工場働く彼女は、移民の弱みに付け込まれ、ギャングに売られてしまう。連れてこられたのはイタリアの売春宿だった。移民女性の苦難とマフィアによる人身売買など衝撃的な内容が主人公の視点から描かれていく。 2006年/35ミリ/カラー/126分 日本語字幕付き 監督：テレーザ・ヴィラヴェルデ 出演：アナ・モレイラ ヴィクトル・ラコフ	6/23 (木) 14:00 26 (日) 14:00 7/1 (金) 14:00 私たちの好きな八月 <i>Aquele Querido Mês de Agosto</i> 8月の地方の町アルガニル。音楽フェスティバルが開催され、映画の撮影隊がやって来る。ハンサムなヘルダーは、ソーニャと恋に落ちるがソーニャの父親は交際を許さない。映画の前半は田舎の街を描いたドキュメンタリーで、後半がメロドラマとなる。真夏の夜の夢のような脱ジャンルの名作。 2008年/35ミリ/カラー/147分 日本語字幕付き 監督：ミゲル・ゴメス 出演：ソニア・パンテイラ ファビオ・オリヴェイラ

※15才未満の方は鑑賞できません。

※15才未満の方は鑑賞できません。



フェスティバル2011 イメージフォーラム	1・水	14:00 プログラムB	16:20 プログラムD		18:40 プログラムE
	2・木	14:00 プログラムC	16:20 プログラムF		18:40 プログラムG
	3・金	14:00 プログラムH	16:20 プログラムI		18:40 かわなかのふひる特別講座
	4・土	11:00 プログラムL	13:00 プログラムA	15:00 プログラムM	17:00 伊奈新祐特別講演会
	5・日	11:00 プログラムS	13:00 プログラムN		15:00 プログラムR

6・月 休館日

7・火 休映日

8・水 14:00 神曲

9・木 14:00 過去と現在 昔の恋、今の恋 19:00 カニバイシュ

10・金 14:00 春の劇 19:00 アニキ・ボボ

11・土 11:00 トラス・オス・モンテス 14:00 黄色い家の記憶 17:00 骨

12・日 11:00 ラスト・ダイビング 14:00 神の結婚

13・月 休館日

14・火 休映日

15・水 14:00 骨

16・木 14:00 トランス 19:00 トラス・オス・モンテス

17・金 14:00 黄色い家の記憶 19:00 ラスト・ダイビング

18・土 11:00 アニキ・ボボ 14:00 カニバイシュ 17:00 過去と現在 昔の恋、今の恋

19・日 11:00 春の劇 14:00 神曲

20・月 休館日

21・火 休映日

22・水 14:00 神の結婚

23・木 14:00 私たちの好きな八月 19:00 トランス

24・金 14:00 神曲 19:00 黄色い家の記憶

25・土 11:00 ラスト・ダイビング 14:00 トラス・オス・モンテス 17:00 トランス

26・日 11:00 骨 14:00 私たちの好きな八月

27・月 休館日

28・火 休映日

29・水 14:00 神の結婚

30・木 休館日

7/1・金 14:00 私たちの好きな八月 19:00 過去と現在 昔の恋、今の恋

2・土 11:00 カニバイシュ 14:00 アニキ・ボボ 17:00 春の劇

マノエル・ド・オリヴェイラ
Manoel de Oliveira

1908年ポルトガル北部の港町ポルトで生まれる。31年に「ドウロ河」を初監督し、一部批評家に認められる。数本の短編映画を制作した後、42年に長編劇映画「アニキ・ボボ」を監督するが、商業的に成功せず、一時映画制作から遠ざかる。63年第二作「春の劇」を発表するが、「ポルトガルには検閲が存在する」と発言したことで投獄されてしまう。72年の「過去と現在 昔の恋、今の恋」で映画界に復帰。「フランシスカ」(81年)でプロデューサーのパウロ・ブランコと手を組み、興行的成功を収める。以後「神曲」「アブラハム溪谷」(93年)などの傑作を発表し、ポルトガルを代表する監督となる。90才を超えて以後も毎年のように新作を発表、世界でも偉大な映画作家の一人として敬愛されている。その他の作品として「クレープの奥方」(99年)「コロブス永遠の海」(07年)「ブロード少女は過激に美しく」(09年)などがある。

シネマテーク・プロジェクトとは、コミュニティシネマセンターと全国各地の映画専門施設(シネマテーク)が共同して、映画史上重要な作品を全国に巡回上映を行う企画です。

《ポルトガル映画祭巡回会場》

金沢21世紀美術館/京都「駅ビルシネマ」/広島市映像文化ライブラリー/神戸アートビレッジ・センター/山口情報芸術センター/せんだいメディアテーク/高知県立美術館/川崎市アートセンター/アテネ・フランセ文化センター

■映像ホール利用申込みについて

映像ホール・シネラでは自主上映(非営利に限る)を希望される方について、下記のとおり利用申し込みの受付を行います。

■利用の申し込み対象期間：平成23年12月～平成24年5月まで
※別途配布の申し込み用紙に対象日を記載しています。

■申し込み受付期間：平成23年5月22日(日)～平成23年6月10日(金) ※休館日を除く

■抽選日：平成23年6月11日(土)午前11時より

■抽選会場：福岡市総合図書館3階 第2研究室

■利用申し込み書：福岡市総合図書館で配布中の申し込み用紙をお出し下さい。

information

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表) : tel.092-852-0600

映像資料課 : tel.092-852-0608 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>

Access

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄

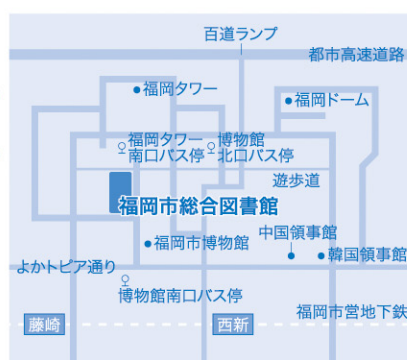
西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[tel.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。



◆◆◆ 第131回福岡日伊協会映画会 ◆◆◆

『愛の泉』(1954年制/102分)

監督：ジーン・ネグレスコ/音楽：ピクチャー・ヤング/出演：ドロシー・マクガイア、ジーン・ピーターズ他

日時：2011年6月27日(月) 19:00～21:00 ※入場無料・先着120名

会場：あじびホール(福岡アジア美術館8F) TEL.092-263-1100

主催：福岡日伊協会 TEL.092-476-2153(西日本シティ銀行内)

協力：財団法人福岡文化財団